

観光事業にたづさわる立教大学校友相互の親睦をはかり、わが国の観光事業発展のためいささかなりとも寄与したい。



St. Paul's Kanko Club News

立教観光クラブニュース

第 100 号

平成20年11月28日 発行人：伊藤 守 編集人：黒田 裕治 印刷：株式会社 北斗社 発行所：〒352-8558 埼玉県新座市北野1丁目 立教大学観光学部 橋本研究室 TEL：048(471)7452

「温故知新と不易流行」

立教観光クラブ会長 伊藤 守(昭49年 観光学科)

七月九日に開催された総会にて再任されました伊藤守です。前期までは主に内部体制の構造改革を推し進めてまいりました。観光クラブを運営する財源は会員の皆様から頂く浄財である基金と広告収入に依存しています。毎年増え続ける会員に対応する経費は積みあがりますが、見合いの収入が追いつかない状況が定着してまいりました。また紙媒体を中心に会員管理のための名簿や会報誌を製作してきましたが、情報の鮮度や正確さについてはアナログの限界を感じざるを得ませんでした。一方運営コスト面からは、低減の限界も限られていました。この二つの問題を点をIT化によって解決する方針を策定して、プロジェクトチームを中心に構造改革を推進してきました。

その努力が七月の総会運営に見事に花を咲かせることができました。参加者の負担軽減の為の参加費値下げ等による収入減以上に諸経費の大幅な削減が出来たことから、「減収増益」というスリムで筋肉質な体質に生まれ変わることができました。財政面からゴーイングコンサーン・持続可能な組織としての仕組の基礎ができました。今期のテーマは表題にありますように「温故知新と不易流行」です。昭和三十六年に発足した伝統ある立教観光クラブの歴史を振り返り理念や文化といった不変(不易)なものを持ち起こして定着させ、また運営に当たっては絶え間ない業務改善(流行)を同時に進行させていきたいと思えます。

先日開催されたホームカミングデーの日に、創立一三五周年を迎える立教学院の「一三五周年記念プロジェクト」の趣旨の発表会に参加いたしました。観光クラブの「不易」とは何かを探している私に立教学院が答えを提供してくれました。記念プロジェクトのメインテーマは「交流力」ということです。人と人とのつながっていくことにより自己を高め、お互いを高め合う力。これが「交流力」ということです。交流力を身につけた人材を育成することが自由の学府、立教学院の使命であると結んでいます。観光クラブの使命は観光に従事する校友同士の交流力に磨きをかける場(総会・講演会・懇親会・HP・観光クラブニュース・分科会)のインフラ提供の拡充と充実に努めていきたいと思えます。最後になりましたが、会員の皆様の変わらぬ暖かいご支援を今後とも宜しくお願いいたします。

立教観光クラブニュース

創刊一〇〇号記念

特別企画!!

立教観光クラブニュースが一〇〇号を数えるまでになりました。

諸先輩の献身的な熱意と継続的な努力の賜物と心得ます。

他大学でのこのような機関紙でここまで継続されている例はなかなかないことだと聞いております。そこで一〇〇号記念の特集として来年、母

校が創立一三五周年を迎えることに際し、明治期の「立教建学の精神」と戦後の「観光クラブ創立」を歴史的な事象、特に観光業界のエポック的な出来事との関わりの中で検証して参りたいと存じます。三回シリーズで進めて参ります。乞うご期待!



池袋キャンパス (1909【明治42年】～)

狭い敷地の築地キャンパスには中学校と大学校の校舎や寄宿舎を始め数々の建物が密集し、500余名の中学生に加えて大学生も年々増加し、将来の発展が憂慮された。ヘンリー・セントジョージ・タッカー総理は、米国聖公会の援助を得て東京府下の新天地池袋へとキャンパスの移転が計画された。チャールズ・シュライバー・ライフスナイダー総理に引き継がれたこの大事業は1916年【大正5年】から3年余りを経て煉瓦造りのカレッジエート・ゴシック建築により完成した。大正12年の関東大震災の洗礼を受け崩壊したが、米国聖公会からの84万5,000ドルの経済援助を得て復興した。

<http://www.toyokanko-g.co.jp>

ホテル
プロヴァンス*21広島 〒733-0021 広島市西区上天満町10-47 ☎(082)235-3322

ひろしま国際ホテル 〒730-0032 広島市中区立町3-13 ☎(082)248-2323

ホテルサンチー*21広島 〒732-0824 広島市南区の場町1-1-25 ☎(082)263-3111

感謝と笑顔でご奉仕 **東洋観光グループ** 代表 今井 誠則
東洋観光株式会社 〒730-0031 広島市中区紙屋町1丁目5-14 Tel.082-248-2623 Fax.082-240-5004

栄養士・調理師の総合学園 食育を学び、次世代への健康と安心・安全をつなぎます。

服部栄養専門学校

Shokuiku (食育) のパイオニア 服部幸應

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-25-4 (J R新宿駅・新南口 徒歩5分)
HP : www.hattori.ac.jp 携帯サイト : mobile.hattori.ac.jp ☎03-3356-7175 (広報課)

立教135年のあゆみ

日本の近代化と立教建学 ～築地に建学した立教の役割～



ウィリアムズ主教 (1829～1910)

った。

立教は一八七四年(明治七年)アメリカ聖公会の伝道主教チャニング・ムーア・ウィリアムズが私塾を開いたのを嚆矢とするが、その後火災を乗り越え一八八二年建築家でもある信徒宣教師J・M・ガーディナーが築地居留地三七番に本格的なレンガ校舎を建て校長となった。この校舎で初めて「立教大学校(St. Paul's College)」の名称が掲げられた。

この他築地は、ミッション系の学校の明治学院、女子聖学院の発祥地となっている。また、慶応義塾の前身となる蘭学塾も鉄砲州の中津藩奥平家の邸内に開校されている。

このように、私立の学校が産声を上げる中で、一九〇〇年(明治三十三年)アメリカ聖公会の医療宣教師のトイスターが来日して築地に診療所を開設、一九〇二年に聖路加病院が完成している。

学校や病院だけではなく、築地は鉄道とも縁が深いのである。一八七二年英国人エドモンド・モレルの指導により新橋・横浜間に日本最初の鉄

道が開通したが、横浜は現在の桜木町で横浜居留地の直近にあり、新橋駅(現在の汐留)は築地居留地の外縁である。まさに居留地を結ぶものであった。

さらに、はじめて本格的な日本の洋式ホテルといわれる「ホテル館」が慶応三年(一八六七年)に東京築地船坂町の御軍艦操練所跡に着工された。因みに、敷地七〇〇坪、洋式客室一〇二室に玉突き等の社交室(ブルバー)まで備えてあった。

「観光」の定義の一つに「国の光を観る」とあるが、外国文化や技術の窓、すなわち外光がふりそそぐ築地で、立教はホテルや鉄道の曙とともにスタートしているのであり、立教が観光に強いものなにか運命的なものを感じる。

さて、話は維新前後に戻る。切支丹禁制の高札が撤去され、キリスト教が解禁されたのは明治六年二月だが、各教派は密かに伝道活動を進めていてウィリアムズは一八六五年、中



ガーディナー (1857～1925)

国及び日本の主教(Missionary Bishop)に就任し、両国に伝道立記念日となっている。

明治十四年の政変で大隈重信が下野し、積極的な欧化政策を推進する伊藤博文らが実権を握る頃と呼応するかのよう



寄宿舎と六角塔(築地居留区: 1894年に着工した寄宿舎と校舎) カタカナの「口」の字形の平面形をした寄宿舎は3階建て。校舎はひらがなの「く」の字形。中央に聳える六角形5層の塔はガーディナーが耐震を考慮した苦心の作(東京地震の教訓を活かして建設)

る事態に、ウィリアムズは本国へ優秀な教師派遣を打診し、ガーディナーが来日した。かねてから確保していた築地居留地に建築の素養があったガーディナーに主教は設計及び建設を任せるのであった。(次号に続く)

文責 宮島・黒田

財務会計 人事給与 勤定奉行
販売仕入顧客 ワークフローシステム

内部統制対応 成長企業様向け 戦略的統合基幹業務システム

奉行 ERP 誕生

株式会社オービックビジネスコンサルタント www.obc.co.jp

代表取締役社長 和田成史 昭50卒
東京都新宿区西新宿6-9-1 住友不動産新宿オークタワー TEL.03(3342)1880(代)
(札幌) (仙台) (関東) (千葉) (横浜) (静岡) (金沢) (名古屋) (大阪) (神戸) (岡山) (広島) (福岡)

東証一部 証券コード 4733

パプアニューギニアトラベルガイド <http://www.png-japan.co.jp/>

ソロモン諸島トラベルガイド <http://solomon-tour.jp/>

クリスマス島ダイビング&フィッシング旅行ガイド <http://kiritimati.travelworkshop.jp/>

ランドオペレーター 専門旅行会社
有限会社ピーエヌジージャパン 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-7-3 九段岡澤ビル1階
TEL:03(5226)7731 E-mail:info@png-japan.co.jp
代表取締役 山辺 登 昭和 57 観卒
東京都知事登録旅行業第 3-5999 号

業界のエポック

年	できごと
1946	☆ホテル講座開講
1961	☆立教観光クラブ設立
1964	海外渡航自由化
1964	東京オリンピック
1964	東海道新幹線開通
1965	「ジャルパック」発売
1966	☆社会学部産業関係学科にホテル・観光コース設置
1967	☆社会学部観光学科および立教観光研究所設立
1969	「ルック」発売
1970	万国博覧会開催（大阪）
1970	すかいらーく1号店オープン
1970	国鉄、デイスカバージャパンキャンペーン開始
1970	JALジャンボジェット就航
1971	マクドナルド1号店オープン
1971	円が変動相場制に移行
1972	冬季オリンピック札幌大会開催
1972	沖縄の施政権返還
1972	田中角栄「日本列島改造論」発表開発ブームと地価高騰
1972	高校生の海外修学旅行始まる
1973	第1次オイルショック
1974	(社)日本フードサービス協会設立
1978	新東京国際空港（成田空港）開港
1979	第2次オイルショック
1983	東京ディズニーランドオープン
1985	プラザ合意
1986	外食産業市場20兆円を超える
1986	地上げが社会問題化する
1986	円高還元セールが繰り返される
1987	国鉄分割・民営化
1987	リゾート法成立
1987	テンミリオン計画発表
1988	牛肉・オレンジの1991年からの輸入自由化交渉可決。
1988	青函トンネル開通
1988	瀬戸大橋開通
1989	ベルリンの壁崩壊
1990	海外渡航者が年間1000万人突破
1991	湾岸戦争勃発
1992	バブル経済の崩壊
1994	前年の凶作から平成米騒動発生
1994	酒税法改正により、地ビールブーム
1994	価格破壊が流行語になる
1995	阪神淡路大震災
1995	一時、1ドル79円台に。
1996	狂牛病騒動
1996	O-157による集団食中毒発生
1997	航空分野における自由競争の促進
1998	☆観光学部、大学院観光学研究科設立
1998	総務庁、65歳の推計人口が2000万人を突破したと発表。
2001	911同時多発テロ
2002	「持続可能な開発に関する世界サミット」にて観光が持続可能な開発の先導的役割を果たす産業の一つであるとはじめて公式に確認された。
2003	ビジットジャパンキャンペーン
2003	SARS感染地域拡大 イラク戦争
2003	観光カリスマの誕生
2008	観光庁発足

☆は立教大学に関わる事項

観光クラブの創立

業界の戦後史と観光クラブの関わり
その精神は黎明期の
ホテル開業事業から続く

左の年表は、立教大学にお

ける観光教育（☆印）と観光業
界および社会の動向をまとめ
たものです。今号では、これ
までの観光クラブニュース（以
下ニュース）をひもとき、立教
観光クラブの発足と深く関わ
るホテル講座創設の状況をこ
紹介いたします。

終戦直後に誕生した

ホテル講座

戦後間もない昭和二十一年、
富士屋ホテル社長の山口正造
氏の遺産により、本学にホテ
ル講座が設立されたという有
名なエピソードがあります。
その詳細が書かれた、立教大
学名誉教授の原勉先生（故人）
のニュース記事（一九九一年四

一号）を見つけました。

まず、「前社長山口正造氏を
記念して育英資金を設立せん
とする謀が、一周忌法要に参
集の有志間に起こり、高久甚
之助氏等が設立世話人となっ
て、その配慮によって募金が
行われた。」という「富士屋ホ
テル八〇年史」の一節が引用
されています。厳密には山口
氏の遺産だけでなく、広く募
金活動が行われたようです。

さらに富士屋ホテルの資料
によりすると、この資金に対
して、運輸省が一万円、外務
省が五千円、日本交通公社と
日本ホテル協会はそれぞれ一
万円、山口三郎氏二万円、富

士屋ホテル二万円といった多
額の寄付の記録が残されてい
ます。その他にも山口正造氏
の実兄であり、当時の日光金
谷ホテル社長、金谷真一氏か
らも二万円寄付されたとのこ
とです。戦後の大変な時期に、
金谷氏、山口氏のように、立
教大学を卒業して業界で活躍
する先輩や政府、業界からの
篤志を得て、ホテル講座は発
足したのです。

日本の観光教育への思い
山口正造氏は、昭和五年に
日本で初めてのホテルスクー
ル、「富士屋ホテルトレーニング
スクール」を開設した人物で

あり、教育熱心なホテルマン
として有名でした（ニュース、
二〇〇六年九二号より）。その
ような人物をたたえ、「暗い時
代への反省と、基幹産業が消
滅した母国を、観光で支えて
いこう」という願いをこめて他
大学の学生や社会人も受講で
きる公開講座としてホテル講
座が設置されました。

この講座をきっかけとして、
ホテル研究会、立教観光クラ
ブ、観光学科、学部が創設さ
れていきます。なお、ホテル
講座はその後時代に合わせて
名前を変え、二〇〇〇年度か
らはホスピタリティ・マネジ
メント講座として開講されて

います。
本学名誉教授の前田勇先生
が昭和六十一年の『立教』一一
六号にて述べられたとおり、
観光業界で活躍する立教の先
輩は大正時代から数多く、「立
教と観光のかかわりの歴史は
も過言ではない」のです。

（文責 丹沼朋子）



第63号 平成8年9月1日発行

観光(中国の言葉: その国の光(すなわち未来)を観るが本来の意)の本質として日本は観るべき光があるのだろうかとインバウンドを通じて日本の考察がなされている。これは国内旅行不振の原因にも言及することになる。地域の地域の人による地域のための観光とは!?

昨年、ハワイの気度が高いのは、言葉の問題もさること乍ら、緑と花に包まれた美しい景観、リゾート地としての清潔な諸施設、心地良いア

環境を仕組化する*研究開発に対する価値基準を多機化する*研究開発蓄積の多面的活用*サービス内容に多くの付加価値を持たせる*知的生産部分を明確にし対価獲得に工夫する*サービス生産において製造業手法の導入を図る*潜在市場の顕在化を図るための周辺環境の整備*顧客の要望にきめ細かく対応するサービス内容をワイヤーチャーターする*マーケティングサポートにおける情報システムの高度利用を図る*顧客を多面的に活用する*知的資源を重視した遠心的組織を構築する*その他 ETC. (Y)

第83号 平成15年1月15日発行

グローバル化の世界的伸張がもたらしたボーダーレス、グローバルカンパニーの台頭。ホテル資本にもその波が来た。

先般、TVのニュース番組で国内の湖沼の生態系が急速に変化しており、外来種であるブラックバス、ブルーギル等が日本の古米種であるフナ、モロコなどを駆逐しており、このままだと古米種の絶滅が危惧されると報じていた。翻

確な経営理念、経営サイドのGMへの大幅な権限委譲、F&Bのオペレーション能力などいろいろ云われるが、それにしても国内ホテルの弱さが露呈している。ホテルへの進出、建設を意図する企業が国内ホテルチェーンに相談せず外国系に委託するケースが圧倒的で歯痒い思いだ。ホテルの営業が女性客に大きく左右されるようになったが、彼女たちは海外で外国の有名ブランドホテルを利用したイメージ、雰囲気強烈に残っ

ており、既存の国内大手ホテルの男型の雰囲気抵抗を感じ、一流でも堅苦しくなく、雰囲気的にもやわらかい外国系ホテル(女性型)へ足を運んでしまおうということも無視できない事実だと思ふ。このままやられっぱなしでは湖沼の古米種の絶滅の危惧と同じような結果になりかねないと思ふ。こころ国内大手ホテルの巻き返しに大いに期待したい。(心配性)

第35号 平成元年9月1日発行

バブル絶頂期 リゾート法成立や交通インフラの発展(青函トンネルや瀬戸大橋開通)で沸く日本。しかし観光業界はその流れをリードしているのだろうかという論点を展開。

われらがホテル・旅行業界のサービス産業は、正にソフト化社会に於ける知的産業の先達として、社会を、産業をリードしていてもおかしくない時代の流れの中で、果してその地位を確立しているか、その評価を得ているか、そのメリットをエンジョイしているか、と問われたらどうであろう?。残念乍ら多くのコリグの方々、否とお応えだと思ふ。

では何を実践したら、どのようなアプローチを試みたら良いのだろうか、以下ヒント(〇)を列挙してみたい。
*創造性を誘発する研究開発

第41号 平成3年2月15日発行

バブル崩壊の前兆を感じながら あらためて「観光」の役割と意義について考察。

湾岸で戦争の火蓋が切つて落され一ヶ月余、一見近代戦のようで実は東西の文化、宗教感、歴史感の摩擦にも思われる。通信網の発達のお陰で全て?がリアルタイムで世界中に伝わり一喜一憂、深く物事を考える暇などないような気がする。フアジー感覚の時代だぞうだが実は2進法のデジタル型発想そのものではないだろうか。海外旅行一千万人達成の後、外客誘致は、どこへ行ってしまったのか。

観光業界に身をおく者にとつて大きな痛手である。東西・南北・世界中の人々と互いに国民性、文化を理解し国際親善を図り、その上で相互のビジネスを進めるための潤滑剤が観光ではなかったのか。CI、VIが叫ばれる中、National Identity, Personal Identityこそが問われているのではないだろうか。一時的な落ち込みは大きくとも、真の観光の在り方を送客側、受客側そして観光をする側各々が

熟思する余裕を神が授けてくれたのではないか。フィーバーの後のパニックではこれまた無為無策ということになる。安定成長時代の今、高度成長時代の牽引車、団塊の世代も交代の時期が迫ってきている。群から孤へ、時代が変化し、価値感が変化しても観光の意義は変わるところか増々重要となってきた。ここから自己の姿を鏡に映しじっくりと考えてみたいものである。(M)

活動の歩み

100号続いた観光クラブニュースから

藤棚に座って世界を通観す 選者 満野順一郎



*** 総会報告 ***

七月九日(水)に毎年恒例の会員総会ならびに講演会・懇親会がシエラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル(千葉県浦安市)において開催されました。今回初めて開催した特別見学会は、前日開催した話題の東京デイズニールアンドホテルにて行われ、開業翌日の忙しい中、同ホテルのご協力により五〇名の参加者がなかなか視察する機会の得られない諸施設を見学しました。

総会には一〇〇名を超える例年に無く多くの会員にご出席頂き、一年間の運営報告の後に会計報告および役員改選が承認されました。また立教観光クラブ賞ならびに外国人留学生奨学金の授賞式が行われました。

講演会では「東京デイズニールリゾート二十五周年と舞浜エリアの事情」と題して、デイズニールアンバサダーホテル総支配人 吉岡滋泰氏(昭58法卒)から、デイズニールリゾートの沿革から周辺ホテルの諸事情などについて興味深いお話をさせていただきました。

懇親会は一六五名の会員に加えて、立教学院・大学、校友会関係より三一名のご来賓

の皆様にご参加いただきました。ご来賓を代表して糸魚川立教学院理事長よりご挨拶を頂き、小出校友会副会長による乾杯のご発声により、同ホテルの長田総支配人(昭48観)心づくしのお料理を楽しみました。恒例のドアブライズ抽選会も、全国の会員の皆様からご提供いただいた楽しい景品の数々のお陰で大いに盛り上がり、抽選券の収益金三十三万円は今後の外国人留学生奨学金基金および当クラブ運営基金に運用させていただきましたこととなりました。中メとして全員で応援歌を元氣よく歌い、お披露喜となりました。



General Meeting & Reception Snap Shots





総会・講演会

「東京ディズニーリゾート25周年と舞浜エリアの事情」

株式会社 ミリアルリゾートホテルズ

ディズニーアンバサダーホテル 総支配人 吉岡 滋泰氏

(講演当時、二〇〇八年十月より東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ総支配人に就任)

提携ホテルのカテゴリー

一九八三年に開業した東京ディズニーランドと、二〇〇一年オープンした東京ディズニーシーをあわせると、東京ディズニーリゾートでは、現在年間二五〇〇万人ものお客様を迎えております。そこには当然、宿泊施設が必要となりますので、これまで多くのホテルと提携を結んでまいりました。

提携ホテルのカテゴリーには、ディズニーホテル、東京ディズニーリゾート・オフィシャルホテル（以下オフィシャルホテル）、東京ディズニーリゾート・パートナーホテル（以下パートナーホテル）、東京ディズニーリゾート・グッドネイバーホテル（以下グッドネイバーホテル）の四つがあります。

カテゴリーによって特典が異なります。ディズニーホテルは特典が最も多く、ホテルでの宴会にミッキーマウスやミニーマウスを呼ぶ「グリー

東京ディズニーリゾート提携ホテルのカテゴリー

カテゴリー名	ホテル数	客室数(室)
ディズニーホテル	3	約1,700
東京ディズニーリゾート・オフィシャルホテル	6	約3,900
東京ディズニーリゾート・パートナーホテル	5	約2,300
東京ディズニーリゾート・グッドネイバーホテル	14	約8,700

ディング」を行うことができますし、パークチケットの販売も自由にできます。特典の最少ないグッドネイバーホテルでは、ホテルとリゾートを結ぶシャトルバスのパッケージを作ることができます。上から三つ目にありますパートナーホテルは、二〇〇五年にバーム&ファウンテンテラスホテルを開業した時に新

規に設けたカテゴリーです。当時、私も開業にかかわっていましたが、「オフィシャルホテルはロイヤルティが高いので手が出ない。しかし、グッドネイバーホテルではマーケティング上弱いのではないか」という議論のもとに作られたという経緯があります。

提携の効用と限界

このように周辺ホテルと提携することによって、スケールメリットや多様性を発揮することができず。その一方で、年間十か月ほどにものぼる、需要がキャパシティに届かない期間には、価格競争が起こってしまいます。

また、パートナーホテルのカテゴリーを作った以降は、カテゴリー間の序列に乱れが生じて始めております。これまでは、上のカテゴリーのホテルは、下のカテゴリーよりも客室稼働率も客室料金も高いのが当たり前でした。しかし、これが同等になったり逆転したりということが起こる



ようになってきているのです。

ちなみに、今のところ、オフィシャルホテルは、稼働率八五%で客室単価が二万六千円のところ、パートナーホテルは稼働率が八〇%に迫っており客室単価は一万九千円です。

事業拡大戦略

オリエンタルランド社は、二〇〇〇年に「一年間の入場者数を二八〇〇万人台にする」という十年間の中期計画を発表しました。現在の入場者数が二五五〇万人ですから、今後二五〇万人も増加させなければなりません。

その打開策の一つが、昨日開業いたしました東京ディズニーランドホテルです。このエリアに客室が純増しますので、新たなライバルの出現と受け取られがちですが、デ

イズニー色を強めた造りにしているのが地方からの一層の集客を見込んでおります。

また、一月にはシルク・ドゥ・ソレイユシアター東京というシルク・ドゥ・ソレイユの常設館がオープンします。年間約二〇〇日、週末は一日二回公演をし、チケット代は平均しますと二万二千〜三万円です。これは、まさしく新たなレジャーの創出に繋がるとオリエンタルランド社では目論んでおります。

例えば、私の勤務先のディズニーアンバサダーホテルは、このシアターの隣にありますので、シルク・ドゥ・ソレイ

ユを鑑賞できるパッケージも作成して販売していかうとしています。

このような新しい集客の道を模索しながら、二〇一〇年の入場者数二八〇〇万人を達成し、提携するすべてのホテルにビジネスチャンスを広げようという計画しているところ

です。
本日はありがとうございました。
(文責 丹治朋子)

一吉岡 滋泰氏 プロフィール

1983年、立教大学法学部法学科を卒業、東京ヒルトン（現ヒルトン東京）を経て、1988年より東京ベイヒルトン、小樽ヒルトンの開業を経験したのちに、2000年舞浜リゾートホテルズ（現 株式会社ミリアルリゾートホテルズ）に入社し、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、バーム&ファウンテンテラスホテルの開業準備に携わる。2006年よりディズニーアンバサダーホテル総支配人（講演当時）。2008年10月より東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ総支配人に就任。



YAMAGEN
http://www.yamagen.co.jp

レンタル什器
オリジナル什器
ディスプレイ
ショップインテリア

東京 大阪 札幌 東北 新潟 宇都宮 横浜 静岡 浜松 名古屋 神戸 岡山 山陰 広島 九州 熊本
株式会社山元 本社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-1-4 山元ビル TEL 03-3241-3881

立教観光クラブ 二〇〇七年度会務報告

1. 年次総会

(講演会・懇親会)開催

二〇〇七年七月四日 ホテルバ
シフィック東京 出席者(会費
支払者数) 一八八名

2. 運営委員会の開催

第一回定例運営委員会

二〇〇七年九月十日 (株)毎日コ
ムネット 会議室 出席二二名

▽会長本年度運営方針及び運営
体制・役割分担

▽総会総括(会計報告、反省、
次回への提言等)

▽広告(名簿・ニュース)進捗状
況

▽ニュース97号編集内容

▽ホームページリニューアル及
び名簿データベース再構築ス
ケジュール

第二回定例運営委員会

二〇〇七年十一月十二日 (株)毎
日コムネット 会議室 出席一
四名

▽取組課題と年間計画

▽ホームページ機能の集中審議
(名簿情報管理運用、バナー
広告等)

▽名簿広告料入金状況

▽分科会活動計画

第三回定例運営委員会

二〇〇八年一月二十一日 第一
ホテル東京シーフォート 出席
二四名

▽ホームページリニューアル進
捗状況と懸案事項審議

▽広告(名簿・ニュース)進捗状
況

▽次年度総会会場決定、講演会
内容協議、

▽観光クラブ賞候補者審議

▽ニュース98号編集内容

▽会議後、運営委員新年会開催

第四回定例運営委員会

二〇〇八年三月十日 (株)毎日コ
ムネット 会議室 出席一六名

▽総会案内スケジュール調整
(名簿発刊廃止に伴う日程見
直し)

▽二〇〇八年度総会講演会懇親
会企画

▽観光クラブ賞候補者推薦
▽ホームページリニューアル準
備状況報告、バナー広告募集
要綱

第五回(臨時)運営委員会

二〇〇八年四月十四日 (株)毎日

コムネット 会議室 出席一七
名

▽二〇〇八年度総会講演会懇親
会企画集中審議

▽観光クラブ賞候補者審議

▽役員改選案

▽奨学金の今後の方向性

全国理事会

二〇〇八年五月十九日 (株)毎日
コムネット 会議室 出席二〇
名

▽役員改選案確認

▽観光クラブ賞候補者決定

▽二〇〇八年度総会講演会懇親
会内容決定、会員向け案内
内容確認

▽会計報告

▽ニュース99号編集内容

▽奨学金の今後の方向性

▽ホームページバナー広告進捗
▽分科会活動状況

総会直前運営委員会

二〇〇八年六月九日 シェラト
ン・グランデ・トーキョーペ
イ・ホテル 出席二名

▽二〇〇八年度総会細目に関す
る打ち合わせ

▽観光クラブ賞候補者一部再協
議

▽役員改選案一部追加確認
▽ニュース次号100号記念号企画
▽ホームページ運用状況

3. 地方支部活動報告

(運営委員会連絡分)

① 中部連合支部

▽懇親会 二〇〇八年一月二十
五日 北京料理「百楽」(名古屋)
参加一九名

② 近畿連合支部

▽合同懇親会 二〇〇七年十一
月十五日 「ボージョレヌー
ボー」の集い 中之島公会堂
参加一〇〇名

校友会大阪支部・京都立教
会・神戸セントポールクラ
ブ・関西レディースクラブと
合同

▽合同新年会 二〇〇八年一月
十九日 リッツカールトン大
阪 参加九〇名

校友会大阪支部・京都立教
会・神戸セントポールクラ
ブ・関西レディースクラブと
合同

▽懇親旅行 二〇〇八年三月八
日～三月九日 愛知県三谷温
泉(明山荘) 参加一六名

▽連合支部総会 二〇〇八年六
月二六日 ホテル日航大阪
参加二五名

② 旅行宿泊部会
二〇〇八年二月十七日～十八日
観音崎急ホテル(神奈川県横
須賀市) 参加二三名

4. 観光クラブニュースの発行

▽第97号 二〇〇七年十月二十
日
▽第98号 二〇〇八年三月十日
▽第99号 二〇〇八年八月十日

5. 奨学生

▽二〇〇七年度立教観光クラブ
奨学金 奨学生採用者

金 台英(キム テヨン)氏

観光学部観光学科三年 韓国
出身

6. 分科会

① 料理飲料部会

二〇〇七年十一月十四日 ラ・
ベルオーラム(上野) 出席四
二名

講演・株式会社ステップ 代表
取締役 小田正人氏(昭42卒、
ホテルレストランコンサルタン
ト)

「HACCPの概念とISO
9000の手法によるノロウイ
ルス対策の具体事例」

二〇〇八年三月十二日 立教大
学 太刀川記念館 出席五八名

講演・ホッピービバレッジ株式
会社 取締役副社長 石渡 美
奈氏(平2卒)

「仕事を楽しむ、自分を楽しむ。
ピンチから一転!ホッピーを三
倍売上げた三代目跡取り娘の愛
と勇氣」

② 旅行宿泊部会
二〇〇八年二月十七日～十八日
観音崎急ホテル(神奈川県横
須賀市) 参加二三名

7. ホームページ

▽運営委員会内でWEBプロジ
ェクトチームを立ち上げ、ホ
ームページのリニューアルに

よる機能設定、特に名簿発刊
廃止に伴う会員情報管理・閲
覧機能の設計、バナー広告規
格、管理・運営方法の企画立
案を推進、定例運営委員会に
諮りながら推進し、本年四月
に無事リニューアル致しまし
た。

8. 本年度観光クラブ賞

受賞者紹介

山岡 常男 氏(昭33卒
株式会社ホテルパーク(岐阜
県) 会長

原 国昭 氏(特別賞)・昭44卒
株式会社ラ・ベルオーラム代
表取締役社長

以上

20年スタンプ FUJIKISQUARE

和食 宮城野

MILKY WAY

PRAZIO

COCA-COLA

(株)富士喜

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-12-8
03-3982-7160

運営基金 寄付者リスト

平成20年5月～平成20年8月 計105名 三三八〇〇〇円

- 大坪高彦、大邊徹、大森信治郎、小田正人、尾山一平、鏝一郎、箕秀夫、梶原康生、加藤敏明、川口誠五、河路光雄、岸野浩平、木村智、久保田祥裕、久保田基義、栗原盾夫、呉東富、黒沢直樹、黒須剛、桑原信彦、古賀正道、古久根孝男、越塚宏孝、小島英夫、後藤達朗、小堀真吾、根本正利、齋藤政雄、齋藤康、坂根正敏、塩島賢次、朱憲論、菅原一郎、杉田由起子、杉本美樹枝、鈴木博、関口芳生、高野尚、高橋正美、高林靖幸、田口素、太刀掛照幸、田中一也、谷内文雄、恵子、玉井和博、丹治朋子、塚田恭民、寺島匡治、名浦正美、中島一彰、中島敬夫、中村好男、名越隆雄、西川恒、野村忠司、長谷川順一郎、長谷川優、花岡貞夫、林伸吉、林雅之、羽山清篤、原英之、平岡健一、深井英治、福原章、藤原喜巳男、本間良雄、柳田博一、松井謙親、松井幹雄、丸英之、森田稔三、柳川敬子、柳田義男、山内博昭、山口登、山下拓治、山下智司、山田順愛、山本爆、山元春三、湯本晃久、与儀達夫、吉澤公寿、吉本明康、若林修渡、邊サト江(敬称略)

立教観光クラブ 外国人留学生奨学金 寄付者リスト

平成20年5月～平成20年8月 計27名 二九〇〇〇円

- 荒井詔二郎、五十嵐政人、石塚順一、伊藤守、今井誠則、梶原康生、久保田基義、呉東富、小島英夫、小堀真吾



アーカイブス

あの時にタイムスリップ!!

観光クラブニュースでは連載シリーズがあります。これは書く方も編集する方もなかなかの力仕事ですが、報告形式の記事が多い中では読み応えのある力作揃いでした。今回はそんな中でもユニークなスッチャー(失礼!!)訓練編です。スッチャーと聞いてあなたは ホリチエミ? ウエトアヤ? それとも キノヒロコ? (笑)

私のスチュワード ストーリー

②日航空訓練所

訓練所の朝は朝礼で始まる。通常は、各教室内で「十の接客言葉」の唱和から始まるのだが、週のうち一日は、訓練生全員が屋上に集合し全体朝礼が行われる。運悪く、その日に当番に当たっていると、訓練生と教官の前で三分間スピーチをしなければいけない。テーマは何でも良いのだが、最近まで女子大生だった私たちにとって、一〇〇名以上の人前でスピーチをするという事は、非常に緊張す

るものだ。しかし、これは、大切な基礎訓練のひとつであって、これからずっと「大勢の人の視線を浴びながら仕事をするのだ」ということをまず意識に定着させるのである。これは、後々、非常に役にたつ。何といっても、乗務員にとって笑顔の次に大切な「度胸」が身につく。

とはいうものの、とりあえず、真冬の羽田空港のビル屋上は寒い。寒すぎる。頬に当たる風が痛い。ましてや訓練生は、パンツスタイルは禁止であったので、(運悪く、当時はミニスカート丈が流行り)聞いている方もまた大変。寒風吹

きささぶ中、背筋を伸ばして三分間はビシッとしていなければいけない。訓練所には、様々な規則(掟?)があった。一つ、訓練生は、エレベーターを使つてはいけない。(ちなみに教室は、七階)一つ、訓練生は、同期といえども、敬語で会話をすること。「いや、ほんまあー」「ちやうでー」など関西弁は、もちろん不可。標準語のイントネーションで話すること。(美しい日本語のアナウンスができれば、訓練所は出られない)とにかく、此処で私は、ありと

あらゆることを習った。英語・アナウンス・言葉遣い・和服の着付け(当時は、機内で和服姿でサービスをする路線があった)から心肺蘇生法。そして、Meal Service。今まで聞いたこともないワインやチーズ・料理等を必死で覚えた。現クラスのシャンパンは、ドンペリニオン。ドイツワインの銘柄は、モーゼル地区ベルンカステラー・バートシュツェベ・カピネット。デザートワインは、シャトー・クレーテ。英国人がお好みのポートワインは、トニーポートでサンデマンの二十年もの。アペタイザーのキャピアには、エッグヨークとホワイト、ミンスト・オニオンをお好みで添え、よく冷えたウォッカを一緒にサービスする。テスト、テストの毎日で睡眠時間も確保できない三カ月だったが、本当に此処で覚えたことは、一生の財産になった。サービスとは「おもてなしの心」

毎日コムネットは学生支援企業です。三つのニーズをつなぐ 毎日コムネットのソリューション。学生のニーズ、大学のニーズ、企業社会のニーズ。毎日コムネット。代表取締役社長 伊藤 守(昭49観卒) JASDAQ証券コード8908 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-1丸の内トラストタワーノース13F TEL 03-5218-8908 URL http://www.maicom.co.jp/

コックさんもバーテンさんも 電話もニイミ 0213 03(3842) ニイミ。ジャンボコックでおなじみ! 食器厨房用品何でも揃う!! ニイミ洋食器店。安くてもすみません。東京都台東区松が谷1-1-1 かつは橋菊屋橋交差点角 OPEN 10:00~18:00 日曜休